

「柔道整復師の施術に係る療養費について」(平成22年5月24日付け保発0524第2号)

○別添1別紙の一部を次の表のように改正する。

(傍線部分が改正部分)

改正後	改正前
<p>別紙</p> <p>第1章・第2章 (略)</p> <p>第3章 保険施術の取扱い</p> <p>16・17 (略)</p> <p>(受給資格の確認等)</p> <p>18 <u>受給資格の確認等については、以下に定めるとおりとすること。</u></p> <p>(1) <u>丁は、患者から施術を求められた場合は、オンライン資格確認又はその者の提出する被保険者証（健康保険被保険者受給資格者票、健康保険被保険者特別療養費受給票、船員保険被扶養者証を含む。以下同じ。）によって療養費を受領する資格があることを確認すること。</u></p> <p><u>ただし、緊急やむを得ない事由によって当該確認を行うことができない患者であって、療養費を受領する資格が明らかかなものについてはこの限りでないが、この場合には、その事由がなくなった後、遅滞なく当該確認を行うこと。</u></p> <p>(2) <u>丁は、オンライン資格確認の利用に当たって「資格確認限定型オンライン資格確認等システム利用規約」を遵守すること。</u></p> <p>19～22 (略)</p>	<p>別紙</p> <p>第1章・第2章 (略)</p> <p>第3章 保険施術の取扱い</p> <p>16・17 (略)</p> <p>(受給資格の確認等)</p> <p>18 <u>丁は、患者から施術を求められた場合は、その者の提出する被保険者証（健康保険被保険者受給資格者票、健康保険被保険者特別療養費受給票、船員保険被扶養者証を含む。以下同じ。）によって療養費を受領する資格があることを確認すること。</u></p> <p><u>ただし、緊急やむを得ない事由によって被保険者証を提出することができない患者であって、療養費を受領する資格が明らかかなものについてはこの限りでないが、この場合には、その事由がなくなった後、遅滞なく被保険者証を確認すること。</u></p> <p>19～22 (略)</p>

<p><u>(個人情報の取扱い)</u> <u>22の2 丁は、療養費の受領等の業務のために知り得た患者に関する個人情報について、適切に取り扱うものとする。</u></p> <p>23～25 (略)</p> <p>第4章～第10章 (略)</p>	<p>(新設)</p> <p>23～25 (略)</p> <p>第4章～第10章 (略)</p>
--	--

○別添2の一部を次の表のように改正する。

(傍線部分が改正部分)

改正後	改正前
<p style="text-align: center;">受領委任の取扱規程</p>	<p style="text-align: center;">受領委任の取扱規程</p>
<p>第1章・第2章 (略)</p>	<p>第1章・第2章 (略)</p>
<p>第3章 保険施術の取扱い</p>	<p>第3章 保険施術の取扱い</p>
<p>16・17 (略)</p>	<p>16・17 (略)</p>
<p>(受給資格の確認等)</p>	<p>(受給資格の確認等)</p>
<p>18 <u>受給資格の確認等については、以下に定めるとおりとすること。</u></p> <p>(1) <u>施術管理者は、患者から施術を求められた場合は、オンライン資格確認又はその者の提出する被保険者証（健康保険被保険者受給資格者票、健康保険被保険者特別療養費受給票、船員保険被扶養者証を含む。以下同じ。）によって療養費を受領する資格があることを確認すること。</u></p> <p><u>ただし、緊急やむを得ない事由によって当該確認を行うことができない患者であって、療養費を受領する資格が明らかなものについてはこの限りでないが、この場合には、その事由がなくなった後、遅滞なく当該確認を行うこと。</u></p> <p>(2) <u>施術管理者は、オンライン資格確認の利用に当たって「資格確認限定型オンライン資格確認等システム利用規約」を遵守すること。</u></p>	<p>18 <u>施術管理者は、患者から施術を求められた場合は、その者の提出する被保険者証（健康保険被保険者受給資格者票、健康保険被保険者特別療養費受給票、船員保険被扶養者証を含む。以下同じ。）によって療養費を受領する資格があることを確認すること。</u></p> <p><u>ただし、緊急やむを得ない事由によって被保険者証を提出することができない患者であって、療養費を受領する資格が明らかなものについてはこの限りでないが、この場合には、その事由がなくなった後、遅滞なく被保険者証を確認すること。</u></p>
<p>19～22 (略)</p>	<p>19～22 (略)</p>
<p>(個人情報の取扱い)</p>	

<p>22 の 2 <u>施術管理者は、療養費の受領等の業務のために知り得た患者に関する個人情報について、適切に取り扱うものとする</u>こと。</p>	<p>(新設)</p>
<p>23～25 (略)</p>	<p>23～25 (略)</p>
<p>第 4 章～第 10 章 (略)</p>	<p>第 4 章～第 10 章 (略)</p>

「柔道整復師の施術に係る療養費について」(平成22年5月24日付け保発0524第2号)

○別添1別紙の一部を次の表のように改正する。

(傍線部分が改正部分)

改正後	改正前
<p>別紙</p> <p>第1章・第2章 (略)</p> <p>第3章 保険施術の取扱い</p> <p>16・17 (略)</p> <p>(受給資格の確認等)</p> <p>18 受給資格の確認等については、以下に定めるとおりとすること。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) <u>丁は、患者から施術を求められた場合であって、患者がオンライン資格確認により療養費を受領する資格があることの確認を求めた場合においては、(1)の規定にかかわらず、オンライン資格確認により療養費を受領する資格があることを確認すること。</u></p> <p><u>ただし、やむを得ない事由によってオンライン資格確認により当該確認を行うことができない患者であって、療養費を受領する資格が明らかなものについてはこの限りでないが、この場合には、その事由がなくなった後、遅滞なく当該確認を行うこと。</u></p> <p>(3) <u>丁は、やむを得ない場合を除き、(2)に規定する場合において、患者がオンライン資格確認によって療養費を受領する資格があることの確認を受けることができるよう、あらかじめ</u></p>	<p>別紙</p> <p>第1章・第2章 (略)</p> <p>第3章 保険施術の取扱い</p> <p>16・17 (略)</p> <p>(受給資格の確認等)</p> <p>18 受給資格の確認等については、以下に定めるとおりとすること。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p>

<p><u>必要な体制を整備しなければならないこと。</u></p> <p>(4) (略)</p> <p>19～25 (略)</p> <p>第4章～第10章 (略)</p>	<p>(2) (略)</p> <p>19～25 (略)</p> <p>第4章～第10章 (略)</p>
--	---

○別添2の一部を次の表のように改正する。

(傍線部分が改正部分)

改正後	改正前
<p>受領委任の取扱規程</p>	<p>受領委任の取扱規程</p>
<p>第1章・第2章 (略)</p>	<p>第1章・第2章 (略)</p>
<p>第3章 保険施術の取扱い</p>	<p>第3章 保険施術の取扱い</p>
<p>16・17 (略)</p>	<p>16・17 (略)</p>
<p>(受給資格の確認等)</p>	<p>(受給資格の確認等)</p>
<p>18 受給資格の確認等については、以下に定めるとおりとすること。</p>	<p>18 受給資格の確認等については、以下に定めるとおりとすること。</p>
<p>(1) (略)</p>	<p>(1) (略)</p>
<p><u>(2) 施術管理者は、患者から施術を求められた場合は、オンライン資格確認により療養費を受領する資格があることの確認を求めた場合においては、(1)の規定にかかわらず、オンライン資格確認によって療養費を受領する資格があることを確認すること。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p><u>ただし、やむを得ない事由によってオンライン資格確認により当該確認を行うことができない患者であって、療養費を受領する資格が明らかなものについてはこの限りでないが、この場合には、その事由がなくなった後、遅滞なく当該確認を行うこと。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p><u>(3) 施術管理者は、やむを得ない場合を除き、(2)に規定する場合において、患者がオンライン資格確認によって療養費を受領する資格があることの確認を受けることができるよう、あらかじめ必要な体制を整備しなければならないこと。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p>(4) (略)</p>	<p>(2) (略)</p>

19～25 (略)

第4章～第10章 (略)

19～25 (略)

第4章～第10章 (略)